

科 目 名	脳と認知科学					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	田 平 隆 行・山 田 麻 和・長谷川 隆 史						
開 講 年 次	1(心 理) 1・2(リハビリとも)	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選択必修
授業の概要 及びねらい	人間の自己の身体理解が脳内にどのように表象されているか、運動はどのようにして発現するかを考える。認知の基本単位である知覚・注意・記憶・言語・運動についての脳内メカニズムを理解し、日常生活における脳の役割を学習する						
授 業 の 到 達 目 標	1) 脳の認知過程について理解する 2) 脳の可塑性について理解する 3) 知覚と運動の一体性について理解する 4) 自己と他者との関係を考える 5) 脳の高次機能を理解する 6) 頭頂連合野について理解する 7) 運動学習について理解する 8) 運動イメージと行為の関わりについて考える						
学 習 方 法	講 義						
テキスト及 び参考書等	特になし。適宜プリントやスライドにて説明する						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎			80		
授業態度	○				20		
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	神経科学の基礎及び概観						
第 2 週	脳の可塑性						
第 3 週	感覚情報処理機構						
第 4 週	認知とは何か						
第 5 週	注意とは何か						
第 6 週	運動学習						
第 7 週	運動イメージ						
第 8 週	記憶とは何か						
第 9 週	言語とは何か						
第 10 週	脳内の比較照合システム						
第 11 週	視知覚機能について						
第 12 週	最近の神経リハビリテーションの知見とまとめ						
第 13 週	遂行機能または情動について						
第 14 週	認知科学からみた臨床						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	予習・復習に努めること						